

～スローガン～

挑戦

～テーマ～

自分自身の中の壁を
越える為に

第38号 2012. 8月

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 河津慎二 編集責任者：牧田継夫 38期メディアコミュニケーション委員会 印刷所：東京印刷(株)

雄飛



鳥取県西部中小企業青年中央会
第38期会長 河津 慎二

東京印刷株式会社 本社営業部企画開発課長
S 45年 4月生まれ
(中央会活動経歴)

H15年度入会 / H16年度 副委員長 / H17
年度 委員長 / H19年度 県出向 / H21年度
副会長 / H22年度 県監事 / H23年度 監事



ご挨拶

鳥取県西部中小企業青年中央会第38期会長を務めさせて頂きます河津慎二です。

入会して節目の10期目に会長を拝命し光栄に思いますとともに、諸先輩方が築かれた歴史と伝統のある当会の会長という責任の重い立場に、改めて身が引き締まる思いです。私なりに精一杯この重責を務めていきます。若輩者ではありますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

平成24年度通常総会懇親会には、ご来賓並びにOB会員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、多くのご臨席を賜りまして誠にありがとうございました。

第38期はスローガンを「挑戦」とさせて頂きました。諸先輩方が築かれた良き伝統は守りつつ、やはり挑戦はしていかなないと成長や進化はないと考えています。現状に満足せず、常に挑戦していくことが、必ず、次代に繋がっていくことだと信じております。テーマは「自分自身の中の壁を越える為に」としました。人それぞれ、自分自身しか分からない越えられない壁を持っていると思います。まずそこに、踏み込んで挑戦をしていかないと、自分自身の変化や成長、キャパシティの広がりには出来ないと考えています。

委員会の構成は、テレビ媒体も活用した広報活動を行う「メ

ディアコミュニケーション委員会」・地域防災について検証、検討する「政治行政委員会」・地域活性化に取り組む「チャレンジ委員会」・教育世代の子を多く持つ会員が現在の教育について検討する「教育対策検討委員会」・色々な角度から、道州制について検証、検討する「道州制問題検討委員会」・第39期がスムーズに活動出来るように40周年事業準備にも取り組む「総務・40周年事業準備委員会」の6委員会です。どの委員会も、あえて難しい問題に取り組み、挑戦して頂こうと考えました。

また、今期は西部から北口県会長も就任されましたので、しっかりサポートして、鳥取県青中も盛り上げていきたいと思っております。中海圏域に於いても、松江市や安来市の青年経済人との交流を活発に行い、山陰の活性化に取り組みます。

諸先輩から見れば、若輩者の25歳から45歳までが集まる会員ですが、その世代だからこそ出来ることもあると思いますし、想いもあると思います。一年間、色々な難しい事業に取り組み、挑戦していくことで、その経験が必ず、40周年、50周年に繋がると信じております。私自身、この会長職が挑戦でもありますし、私なりに精一杯想いを込めて取り組みます。今後も皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

副会長・専務理事ごあいさつ



政治行政委員会担当

副会長 長田賢一

(尙長田製麺所 取締役)
S44年2月生まれ
〈中央会活動履歴〉
H14年度入会／H16年度 副委員長／H19年度
副委員長／H21年度 委員長／H23年度 副会長

昨年に続き第38期副会長を拝命いたしました長田賢一でございます。皆様一年間宜しくお願ひ致します。

今期は政治行政委員会の担当をさせていただきます。政治行政委員会は中央会委員会の中でも伝統の在る委員会ですので、身の引き締まる思いでいます。河津会長の方針に沿って古谷委員長の思いを形に出来るよう、また委員会がスムーズに運営出来るようサポートしていきたいと思ひます。

微力ではありますが、河津会長を支え38期を盛りたてて頂ける様、副会長職を全うしたいと思ひしておりますので宜しくお願ひ致します。



道州制問題検討委員会担当

副会長 須山裕文

(須山醤油株式会社 専務取締役)
S44年5月生まれ
〈中央会活動履歴〉
H15年度入会／H17年度 副委員長／
H21年度 委員長／H23年度 副会長

第38期、副会長を拝命いたしました須山です。宜しくお願ひいたします。37期に続いて副会長をさせて頂けることを非常に光榮に感じております。ご承認頂きました会員の皆様には心から感謝を申し上げます。引き続き副会長を務めさせて頂くに当たり、改めてその責任の重みを感じると共に、しっかりと職務を全うする決意を新たにしております。

担当させて頂く委員会は道州制問題検討委員会です。非常に難しいテーマの委員会ではありますが、委員長・副委員長、そして委員会メンバーと共に私自身も勉強させて頂けることを今から楽しみにしております。

一年間、気合を入れて頑張っていきますので、宜しくお願ひいたします。



教育対策検討委員会担当

副会長 茅野康洋

(尙家楽 代表取締役)
S46年4月生まれ
〈中央会活動履歴〉
H8年度入会／H16年度 副委員長／
H20年度 委員長／H22年度 県出向理事

教育対策検討委員会の担当副会長をさせていただきます茅野です。河津会長の下、皆さんが楽しんで中央会活動ができるよう、頑張らせて頂きますので宜しくお願ひします。

中央会活動は、楽しくないといけません。例会・委員会の出席も、楽しければおのずとよくなるはずですよ。

振り返れば、私が委員長をさせていただいたエリアデザイン委員会の時は、のびのびとやりたい活動をさせていただいた記憶があります。副会長として、委員会の活動を制約しないようにサポートしていきたいと思ひます。

「挑戦」というテーマ、また今まであまり例のない「教育対策検討委員会」の担当と難しい内容とは思ひますが、私もこの一年は自身の挑戦だと思ひます。その「挑戦」を、会員の皆様と一緒に楽しんでいくために、微力ながら頑張りますので、一年間宜しくお願ひ致します。



メディアコミュニケーション委員会担当

副会長 牧田継夫

(土地家屋調査士牧田継夫事務所 所長)
S46年9月生まれ
〈中央会活動履歴〉
平成14年度入会／平成17年度 県出向／平成18年度
委員長／平成21年度 副委員長／平成23年度 県出向

第38期副会長をさせていただきます、牧田継夫と申します。「メディアコミュニケーション委員会」を担当させていただきます。1年間よろしくお願ひいたします。

今年度当委員会は、広報誌である「ハンサム」はもちろんのこと、HP、テレビ、ラジオ、Face Book等々、様々なメディア媒体からTSCの活動を発信させて頂こうと考えております。TSCの現役が頑張っている姿を、ストレートにお届けできればと思ひます。

また、プラスアルファの活動も試行錯誤しておりますので、皆様にしっかりと楽しんで頂ければ、と思ひます。

委員長・副委員長・委員会メンバーとともに精一杯「挑戦」し、楽しい1年間にして参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



チャレンジ委員会担当

副会長 後藤太良

(ティーエーアイ(株) 代表取締役)
S47年1月生まれ
〈中央会活動履歴〉
平成12年度入会／平成15年度 副委員長
平成18年度 委員長／平成22年度 副会長

第38期、副会長を務めさせていただきます、後藤太良です。宜しくお願ひいたします。

今年度のスローガン「挑戦」、そして担当委員会はチャレンジ委員会。大変名響なことに一昨年同様、スローガンの名が付く委員会を受け持たせて頂きます。

緊張と興奮と、得体の知れない疲れと強烈な気合で中身がおかしくなりそうですが、チャレンジ委員会がいい活動ができるよう委員長をフォローし、そして河津会長をしっかり御支えて参ります。

また一年間自分自身ともしっかり向き合い、己の壁を超える挑戦をしていきます。

皆さん、一年間「挑戦」していきましょう！



総務・40周年事業準備委員会担当

副会長 松田幸紀

(株)かばはうす 代表取締役
S49年7月生まれ
〈中央会活動履歴〉
平成16年度入会／平成19年度 副委員長
平成20年度 委員長／平成21年度 県出向

第38期、副会長を拝命致しました松田幸紀です。本年度のテーマ「挑戦」こそ、我々「青年」に与えられた使命だと感じ、決して失敗を恐れず全員で前に進んで行きたいと思ひます。

総務・40周年事業準備委員会は、2つの大きな意味を持つ委員会です。

1つ目は、縁の下の力持ちとして、中央会の全ての活動を成功に導くという任務。

2つ目は、2年後の40周年事業の土台をしっかりと作るという任務。どちらも今後の中央会を左右すると言っても過言では無い重要な任務です。

今期、河津会長に与えられたこの任務を、盛政委員長、中川・田中両副委員長を中心とするメンバー全員で一致団結して頑張りますので、どうか1年間ご支援・ご協力の程宜しくお願ひ致します。



専務理事兼会計担当

副会長 竹ノ内賢一郎

(有)サンクリーン 代表取締役
S50年5月生まれ
(中央会活動履歴)
平成19年度 入会/平成21年度 副委員長/
平成22年度 委員長/平成23年度 県出向

第38期河津会長より専務理事兼会計担当理事を拝命いたしました竹ノ内です。1年間どうぞ宜しくお願いいたします。

4月の臨時総会以来、立ち上げの大変さを身を以って体験させて頂きました。今期は配属委員会なしということで、西部青年中央会の運営を側面から精一杯支援させていただきたく思います。

活動の源はそれぞれ違うかもしれませんが、全てが『縁』だと思います。河津会長の掲げられた『挑戦』～自分自身の中の壁を越える為に～このスローガンを念頭に、各委員長・全会員が協調し、切磋琢磨しながら、自分自身の壁を越えましょう！

微力ではありますが、全力で会長を盛り立て、スムーズな運営を行っていきたく思います。宜しくお願いします！！

委員長ごあいさつ



メディアコミュニケーション委員会

委員長 長谷川貴久

入会してから初めて委員長の大役を拝命し、やりたい事が次から次とあふれ出てきます。しかしその一方で、今までお世話になってきた委員長方のご苦勞を、今更ながらに痛感しています。このワクワク感と胃の痛みを最後まで忘れる事なく、一年をまい進して参ります。今期は委員会テーマとして「表現力の向上」に挑戦します。1. 中海TVパブリックアクセスチャンネルを活用し、中央会広報番組を複数回投稿します。2. 広報誌「ハンサム」の読者から共感を得られるような魅力ある記事作りを目指し、様々な角度から表現手法の体験・学習を行います。3. 会員企業の紹介や新事業に焦点を当て、中央会の広告チラシを作成し、情報発信したいと思います。よろしくお願ひします。

(株)ミトクハーネス
経営企画部長
S47年11月生まれ
(中央会活動履歴)
平成11年度 入会
平成16年度 副委員長



政治行政委員会

委員長 古谷一朗

この度、委員長をさせて頂きます古谷です。入会してから5年目を迎えた新たな気持ちを持ってこのチャンスを自分の経験にしたいと思っています。

本年度のスローガン「挑戦」の下、委員会テーマの中核である「地域防災」をまず会員が身近なこととして認識し、また行政の取組などを検証しつつ、委員会の中で新たな取組やスキルを身に付けていきたいと考えています。口下手で不慣れではありますが委員会・会にとって魅力ある活動が出来るように、また会員の思いが語り合える委員会にしたいと思っておりますので、1年間よろしくお願ひいたします。

(有)サン電機
取締役社長
S46年3月生まれ
(中央会活動履歴)
平成17年度 入会
平成20年度 副委員長



チャレンジ委員会

委員長 上田康文

第38期チャレンジ委員会の委員長を拝命致しました、上田康文です。

私も入会5年目となりますが、今まで6名の委員長の下で中央会活動をさせていただきました。6名すべての委員長が素晴らしい方でしたので、その経験が逆にプレッシャーになります。学んだことを活かして頑張っていきます。第38期河津会長から「チャレンジ・地域活性化」のテーマをいただき、日々何をすべきか考えております。なかなか定まらず悪戦苦闘しておりますが、幸いメンバーは非の打ち所のない構成になっております。知恵を借りながら、1年間みんなに来ていただける楽しく有意義な委員会活動を行いたいと思っております。

うえだイベント(株)
代表取締役
S49年6月生まれ
(中央会活動履歴)
平成19年度 入会
平成21年度 副委員長



教育対策検討委員会

委員長 白石博昭

委員会スローガン「親としての挑戦」委員会テーマ「生き抜く力を身につける」

自殺者が14年連続3万人を超える異常な事態の、我が愛する日本。そんな時代に生きる僕らは 未来を担う子供たちの「道標」にならなければなりません。

子育てを母親任せにし、父親はただお金を稼いでくればよいなんて時代は終わりました。

「いかに稼ぐか」より「どう生きるか」に時代はシフトしています。

子供は地球の宝物です。

大人の僕たちが「生きる楽しさ」を全身で表現して伝えていきたいと思います。教育は 1) 家庭 2) 学校 3) 地域 のバランスから成り立っています。「親」として子供と共に学び楽しみ「家庭」で「地域」で実践して生きましょう。まずは、「小中学校教育の現状」を知ることから、この一年が始まります。

しらいし設計室 代表
S47年2月生まれ
(中央会活動履歴)
平成19年度 入会
平成21年度 副委員長
平成23年度 県出向



道州制問題検討委員会

委員長 濱田 修

第38期道州制問題検討委員会委員長を拝命致しました濱田です。道州制問題という難しいテーマを頂いている委員会ということでプレッシャーもありますが、変に凝り固まり過ぎず適度な緊張感の中で楽しく活動していければと思っています。

この委員会では道州制の制度の概要や、その論議に至る背景についても踏まえうえて、鳥取県の視点からみた道州制問題について考察していくつもりです。その為には鳥取県について色々な角度・分野から考えて検証することが不可欠です。改めて地元を見つめ直し、その在るべき姿について考えるいい機会であり、きっと充実した活動ができる一年になるものと思っております。この一年間、委員会活動を通して自分自身の内にある壁をのり越え、成長できるように精一杯頑張っていきますので、宜しくお願い致します。

(株)ホクシン
専務取締役
S49年9月生まれ
(中央会活動履歴)
平成16年度 入会
平成22年度 副委員長



総務・40周年事業準備委員会

委員長 盛政春樹

平成24年度総会懇親会いかがでしたでしょうか。第38期総務・40周年事業準備委員会の委員長を務めさせていただきます、盛政春樹です。

河津会長が掲げたスローガンは「挑戦」、テーマは「～自分自身の中の壁を越えるために～」です。当委員会の事業は総務事業と40周年事業の準備、取り組まなければならないことが盛り沢山です。第38期の委員長の中では入会歴が一番浅い私ですが、最年長でもあります。歴代委員長に見劣りしないよう自分自身に下駄をはかせ、1年後に委員会メンバー全員で「充実した1年でした！」と言えるように「挑戦魂」で頑張りますので、皆様宜しくお願いいたします。

大同警備保障(有)
総務課長
S45年1月生まれ
(中央会活動履歴)
平成21年度 入会
平成23年度 副委員長

平成24年度通常総会

平成24年7月12日(木)
ホテルサンルート米子



平成24年7月12日(木)通常総会がホテルサンルート米子において開催され、冒頭森協会長より「皆様のおかげで無事に事業を執り行う事ができました。この一年は自分にとって一生の宝です」と最後の挨拶があった。続いて赤江圭吾会員・福本隆史会員・星川和久会員の3名を新入会員として迎え、会員バッジと会員手帳の授与式を行い今後の中央会への抱負を一言ずつ述べた。

通常総会開催に先立ち、土岐副会長を議長に推薦・選任し、議長進行の下、岩田専務理事より第1号議案 平成23

年度事業報告ならびに収支決算報告。第2号議案 平成24年度事業計画ならびに収支予算案について審議され原案通り可決・決定された。

表彰式では、永年に渡り当会の発展に尽力された増井県監事(第35期会長)に特別功労賞が贈られ、精勤賞28名、皆勤賞22名が発表された。



委員会発表では優秀委員会に地域ビジョン委員会、最優秀委員会には広報

委員会が選ばれ、長谷川委員長、松尾委員長それぞれより「副委員長はじめ委員会メンバー全員の支えあってこそこの成果です。これからも中央会活動に力を入れて参ります」と38期への意気込みも感じさせる挨拶があった。そうした熱気漂う中、平成24年度通常総会は閉会し、相互理解と強調をテーマとした

「成長」は自分自身の壁を越える為の「挑戦」へとバトンタッチされた。



(記事:吉田)

卒会式

通常総会に引き続き第37期卒会式が行われた。

冒頭に11名の卒会者の紹介があり、卒会証書・記念品・花束の授与が行われた。森協会長より「個人的にも会を通してもお一人お一人にたくさんの想いがあります。これからもOB会員としてご指導宜しくお願い致します」との祝辞があった。

卒会者を代表して加藤新OBより森協会長に記念品が渡され、「今日で『こんばんは!』のフレーズが最後だと思うと少

し寂しい気も致しますが、会社を存続させてこそ中央会。それを支えてくださる会員・社員・家族に心から感謝しています。みなさん、これからも頑張ってください」と心温まるメッセージを頂きました。

卒会者の皆様、ご卒会本当におめでとうございます。

益々のご活躍を会員一同お祈り致します。(記事:吉田)



懇親会

通常総会・卒会式に続き、藤井副知事を始めとする多数の御来賓・OB会員にご出席頂き、懇親会が盛大に開催された。

最初に38期河津会長が、スローガン「挑戦」についての想いを語られ、「自分自身の壁を越えて新しい事にも積極的に挑戦して頂きたい」との挨拶があった。



次に御来賓にご挨拶を頂き、野坂米子市長の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。まず、淀江さんこ節保存会の方々によ



る傘踊りや壁塗りさんこの踊りが披露され、野坂米子市長・中村境港市長・宇佐見OB会長・河津会長の飛び入り参加で更に盛り上がった。

そして、38期新役員紹介・卒会者紹介に移り、新役員は今期に対する想いを、卒会者は中央会生活の思い出や現役員へのメッセージを語られた。

毎年恒例となっているトライアスロン壮行会には、応援団より今年チー

ムで出場する「白土ぶどう by TSC」・「チームおんぼら」の出場選手6名に熱いエールが送られ、各選手が大会への意気込みと抱負を語った。



また、中央会名物白ネギ踊りで河津会長にもエールが送られた。おおいに盛り上がった懇親会も中締めとなり、新OBに感謝の気持ちを込めた胴上げで閉会となった。(記事:野口)





ご挨拶

第38期鳥取県中小企業青年中央会 会長 北口 智明

先日行われました県総会において、第38期鳥取県中小企業青年中央会の会長に承認を頂きました。北口智明です。満場一致の「異議なし！」の言葉に、身が引き締まる思いです。

私は第27期に入会させていただいてから第36期地区会長をさせていただき、掛け足で地区の活動をさせて頂きました。そして卒会の年に、会長という大役のご指名を頂き、あと1年、今までお世話になった中央会に対する御恩返しと思い頑張らせていただきますので、皆様宜しくお願いします。

さて、今年の県のテーマは『同志一丸』とさせていただきます。これは、不景気や東日本大震災、円高など企業を取り巻く大きな問題に、東中西の中央会が全会一丸となって乗り越えていかなければ今後の中央会、ひいては鳥取県の発展はないとの想

いからです。各地区のテーマ、東部「愛」・中部「チャレンジ」・西部「挑戦」と、それぞれ県のテーマにつながる内容であると考えています。そのテーマのために今年は事業を大きく再編し、より実益のある行事に注力することとしました。

その中で軸として『ビジネス交流・教育事業』があります。これは単に懇親だけではない、会員企業によるビジネス交流を促進するイベントを開催し、より公私共に実益のある中央会を目指すために開催するものです。

そして、第38期ということはいよいよ40期、周年の年が目前と迫ってまいりました。周年事業は会員のベクトルを同じくし、会外に中央会を発信するよい機会です。それを見据えて、地固めとして今年は地区の枠を超えた活動を通じ団結していきます！

県は地区の上位団体ではありません。地区に所属するということは県に所属することにもなります。我々県役員は一年間、会員の皆様が中央会に入ってよかったと思えるよう頑張りますので、ご協力を宜しくお願い致します。

鳥取県中小企業青年中央会 第38回通常総会

平成24年7月23日(月)
倉吉シティホテル



平成24年7月23日(月)、倉吉シティホテルに於いて、鳥取県中小企業青年中央会 第38期通常総会が開催された。

我が西部地区からは、河津会長、森脇直前会長を始め、7名の新OBを含む総勢67名の会員が参加した。

まず山上県会長より、{結集・共感そして融合 ともに学び、ともに成長する}という、本年度のテーマに込められた想いと、数多くの事業を行えた事について、水野・森脇・照下の3名の県副会長と各地区の県出向役員の尽力に対する謝意が述べられた。そして「私はかつて先輩方が掲げ

通常総会終了後、会場を隣室に移し、藤井副知事を始めとする多数の御来賓をお迎えしての懇親会が始まった。



冒頭、第37期山上県会長から第38期北口県会長へ、伝統となっている県会長の

られた{時代に挑み、次代を創る。}という言葉が大好きです。これから来年度以降も次代を創る青年中央会である事を願って止みません。この一年間、どうもありがとうございました。」との挨拶で総会は始まった。

続いての通常総会では、照下県副会長が議長に選出され、通常総会議案書に従い進められた。まず第1号議案では、平成23年度事業報告・収支決算書が提出・発表され、満場一致にて承認された。



続いて、第2号議案の任期満了に伴う新会長指名承認では、西部の北口智明新県会長が発表され、大音量の「異議なし」の声の下、

鍵の受け渡しが行われ、文字通り新年度へのパトタッチが行われた。

御来賓のご挨拶に続き、石田倉吉市長の乾杯の御発声により懇親会が開会された。

その後各地区の38期会長より、今期のスローガンの発表並びに、理事・県出向の紹介と各自の挨拶があったのであるが、地区毎の個性の現れた素晴らしいものであった。

特にわが西部は「髪を短くした」河津会長より紹介された各役員が、60余名の西部会員の大歓声の中、「時間通りに」見



満場一致にて承認された。さらに第3号議案 任期満了に伴う新役員承認の件では、つい先ほど承認された北口新会長より次年度役員が発表され、これも満場一致にて承認された。最後に第4号議案 平成24年度事業計画書・収支予算書(案)が北口新会長より発表され、満場一致での承認により、無事通常総会は閉会となった。

事に熱い想いを語ったのである。これは西部として北口県会長の船出に恥じないものであった。

最後に、今年ついに悲願の完走を果たされた、「鉄人」山上直前県会長の中締めで閉会となったのであるが、その中締めの挨拶でもトライアスロンでの他地区の出場選手やその他中央会会員の応援・ボランティアへの感謝の言葉は、会をあげてトライアスロンに携わる西部の一人としても、非常に嬉しいものでありました。

(記事:竹谷)



第32回全日本トライアスロン皆生大会



トライアスロン参加選手感想

チーム白土ぶどう (土岐OB会員、白石会員、安岡会員)



最高気温36度。朝から蒸し暑く、皆生大会らしい一日が始まる。残念ながら皆生海岸は波高3mでスイムは中止となりファーストラン8.3kmに変更となった。横山会員のサポートの中、ファーストランの安岡会員、バイクの白石会員、ランの土岐OB会員が粘り腰で繋ぎ、午後8時5分ごろ東山へたどり着いた。



振り返ってみれば、選手それぞれが暑さと戦った大会であった。ただ、そこは皆生大会。大歓声で迎えてくれたオアシスA.S、コース全体では大会スタッフ、ボランティアさんをはじめ、沿道の人々の歓声やサポートのおかげでフィニッシュまでたどり着けたのだと心から思う。

また、今回リレーの部で戦う事の楽しさを実感し、感動を味わったことは間違いない。次回大会に手を挙げる人が多く出てくれることを期待する。

チームおんぼら (後藤(公)会員、福庭会員)

昨年に引き続き、2年連続で参加させていただきました。メンバー個々に身内の不幸や心配事があったせいで必ずしも充分とは言えない練習時間でしたが、今年も無事「おんぼら」と時間内完走を果たしました。



これも会長をはじめとした会員諸氏のご理解・ご声援の賜物とメンバー一同感謝しております。本当にありがとうございました。

入会以来、長らく裏方として本大会を支えてきたご褒美として、自治体や住民を巻き込んだ素晴らしい地域イベントをアスリートの一員として体感することができました。来年どうい立場で携わっているかわかりませんが、地域に根差す経済団体の一員として、今まで以上の姿勢で本大会に係わっていきたいと思っています。





実行委員長 岩田 剛



マラソン部長 牧田継夫



当会のトライアスロンへの関わり方は、ボランティア部・マラソン部・AS部と3つの部署に分かれて活動しています。故に、他の部署の活動が見えづらく、なかなか「オール中央会」になりきれない事も多々あります。しかし、昨年からの事前の部長・副部長ミーティング、次年度以降への人材の育成によりスムーズな運営ができたと思えます。また、新会員の活躍によりボラ

ンティア部・マラソン部は活性化できたことと思われま

す。涙目で「来年も必ず来ます」という選手。熱中症のため、無念のリタイアをする選手。「このエイドは美人が多いなあ」って喜ばれたり。

相変わらず「選手を応援しながら、こちらにも勇気がもらえる不思議な空間」がそこにありました。フェイスブックで見ず知らずの世界中の人と「繋がる」ことは出来ますが、やっぱりこの「LIVE」での繋がりに敵うものではありません。

土岐ボランティア部長、牧田マラソン部長、盛政AS部長、そして各部長を支えていただいた濱田、松田(幸)、山内、本田各副部長の皆さんありがとうございました。

また来年も、やらいや…!!



第32回全日本トライアスロン皆生大会、マラソンコースのために御協力頂きました皆様、OB会員の皆様、現役会員の皆様、そして、大好きなマラソン部のみんな！今年も助けて頂きました。本当に感謝申し上げます。有難うございました。また、お疲れ様でした！

2年目の部長で内容もほぼ(?)頭に入っており、よく把握しておりましたが、自分の性格が改善されておらず、細かい部分の詰めが甘さにじみ出た大会でした。特に大会当日は予想通りの猛暑で、熱中症対策に悩まされました。

マラソン部としては、「まんが王国AS」も心配事であり、苦勞して立ち上げたものの、選手に気に入って頂けるかどうか、気が気ではありませんでした。何はともあれ、無事に大会が終了し、ひとまず安心しております。

最後に、土岐さん、後藤公平さん、福庭さん、白石くん、安岡くん、完走おめでとうございます！感動した！そして、マラソン部のみんなに胴上げしてもらったことも感動した！来年はもっといい大会になりますように……。

第32回全日本トライアスロン皆生大会を終えて

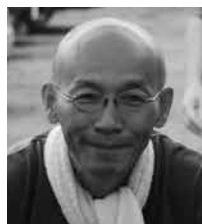
ボランティア部長 土岐哲己



今回ボランティア部は、現役会員25名に加え、毎年お手伝いいただくサポーターの方や、OB会員の方々にもご協力いただきスタートしました。6名の若手会員は、当日はASに配属となるトライアル会員でしたが、準備段階で様々な作業や調整を積極的にこなし、頼もしい部員として活躍していただきました。更に、昨年以前から部を支えていただいているメンバーは、若手・ベテランとも細かな指示をしなくても主体的に活動し、次年度以降を任せられる人材が豊富になったと確信しています。今回、ボランティア部長が選手として出場するというイレギュラーな事態の中、ボランティア部が一致協力して当日の運営をしてくれました。部長代理をお願いした歴代部長をはじめ、たくさんの方々の力が結集し、ボランティア部が成り立っている事を再確認した大会となりました。また、ボランティア説明会等にご協力いただいた会員の皆さんや、携わっていただきました全ての皆様、ありがとうございました。

また、ボランティア説明会等にご協力いただいた会員の皆さんや、携わっていただきました全ての皆様、ありがとうございました。

AS部長 盛政春樹



「昨年はAS副部長、今年はAS部長！オアシスイドの運営と選手の応援を一生懸命にやるぞ！」と真剣に考えはじめた7月13日(遅!)。こんなことでオアシスイドの運営大丈夫かなあ……と思って当日を迎えたら、なんということでしょう本田AS副部長と山内AS副部長が中心となってすべて段取りしてくれているではありませんか!!! かゆいところに手が届くとはまさにこのこと！暑くて熱い1日も、美保中学校の生徒たちをはじめとした一般ボランティアさんの元気と、中央会メンバーの挑戦魂がオアシスイドの中に渦巻き選手の力水になったと思います。また選手のゴールを目指す姿勢も我々に力水を与えてくれました。全日本トライアスロン皆生大会、いつも感動を覚えます。いろんなドラマがオアシスイドでありましたが心地よい疲れを感じた1日でした。皆様ご協力ありがとうございました。……最後のビールかけ日焼けした頭にしみたなあ。



新入会員が見たトライアスロン

volunteer

権田和志

当日は米子36度。唸る猛暑でした。

今にも倒れそうな姿で走ってくる選手を見て、応援にも熱が入り心の底から「がんばれ、ファイト」と叫び続けました。ふと気付くと、いつの間にか私自身もレースに参加している錯覚に陥っており、猛暑の事など頭から無くなっていました。

体力的にも限界のはずの選手が、沿道からの声援に対し笑顔で応える姿、給水スポンジを一生懸命選手に与える中高生ボランティア、コールドスプレーやエアースロンパスをかけたリ、マッサージ等を行うボランティア、軽食配給のボランティア等々、選手とスタッフが丸となった素晴らしい大会でした。

「人は一人では生きていけない、たくさんの方々の支えがあって初めて生きていける」という人生の縮図を感じた一日でした。私自身今日の感動を忘れることなく、中央会活動と本業、プライベートを充実したものにしていきます。当日お世話になった諸先輩方、感動体験をさせて頂き本当にありがとうございました。



吉田通代

すべてが「テレビで観る光景」でした。

トライアスロン関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。

今年初めてトライアスロンボランティアへ参加させて頂きました。

長時間、猛暑の中、体内電池が切れるんじゃないかと思う瞬間が幾度とありましたが、エイドステーションでドリンクやフルーツを配り、通過して行く選手を応援しているうち、一人ひとりが自分自身の目標や決意を抱いてこの大会に臨んでいるんだなあと感じはじめました。後半ではやむを得ずリタイアされる方の横で涙ぐむ始末・・・。気付けば「挑む人、迎える人、ひとつになる瞬間」とスローガンそのものの状態になっていました。

暑い夏をさらに熱く感じる貴重な経験ができた事に感謝しています。本当にありがとうございました。

奥森秀夫

トライアスロンのボランティアに参加して一番感じた事は、「今の日本、まだまだ思いやりがたくさんあるんだな」ということでした。沿道のギャラリーは選手にたくさんの声援を送り、エイドステーションではボランティアの人が選手を気遣い・サポートし、そんなたくさんの優しさを受けた選手は疲労困憊でも感謝し、前へと進みつづける。普段なかなか経験できない雰囲気の中、気持ちいい疲労感を得ることができました。

また、綱領の中にある「われわれは、社会に奉仕しお互いの友愛を深める」これを実践できるこの活動に来年も参加できればと思います。皆様本当にお疲れ様でした。

赤井宏之

第32回を迎えた全日本トライアスロン皆生大会。日本一熱い一日となりました。

今回初めてボランティアで準備から携わらせていただきましたが、なぜもっと早く参加しなかったのか？という思いに駆られました。現在はランエリアに住んでいます、実家近辺はバイクエリアで、応援も数える程で、見ている1人でした。当日はオアシスA Sの設営の準備、選手のナンバーコールを1人でも多くの名前を呼べるよう心がけ、スタッフの一人として精一杯応援しました。

「ファイト！頑張ってらっしゃい！」の声に「ハイ」「ありがとう」、過酷な中でも返して頂け、応援せずにはいられない心境でした。

看板撤収の際、ラジオを通して選手からスタッフに向けての感謝の言葉を聞いたとき、改めて参加して良かったと思いました。

8月例会案内

と き：平成24年8月20日（月）19：00～21：00
場 所：ホテルサンルート米子 芙蓉の間
内 容：パネルディスカッション 「ぎないや山陰」
パネラー：DBSクルーズフェリー社 日本支社長 李 峻萬(リジュマン)氏
株式会社ニチド 代表取締役 ドアル・アリ氏
鳥取環境大学経営学部 講師 付 馨(フケイ)氏
担 当：第38期正副委員長・役員

8月役員会報告

8月役員会が平成24年8月1日(水)ベイサイドスクエア皆生ホテルにて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。
・7月総会、卒会式、懇親会の開催報告 ・8月例会について ・その他
※なお、詳細については各委員長までご参照ください。

編集後記

ついに委員長として広報誌に携わる事になりました。永らく思い描くだけだった様々な表現を、果たしてどれだけ実現できるのか？が自身の課題です。一年間の大役をいの一番に楽しんで参りたいと思います。(記事:長谷川)

(政治行政委員会)



あか い ひろ 之
赤 井 宏 之 A型
学米子自動車学校 総務課主任
自動車運転教習業
〒683-0845 米子市旗ヶ崎2丁目15番1号
TEL 33-1231 FAX 33-8767
(KT) 090-3373-7014
(EM) soumu@yojiga.net
S49.09生

〈コメント〉

この度、中央会に入会させていただいた米子自動車学校の赤井宏之です。中央会での活動を通じて、自分自身の成長を果たすとともに、微力ながら中央会の発展に貢献できるように頑張っています。今後とも皆様のご指導をよろしく願います。

(チャレンジ委員会)



ふく かも たか し
福 本 隆 史 A型
河崎植木園 副代表
造園業
〒683-0852 米子市河崎171-4
TEL 29-0965 FAX 24-2910
(KT) 090-7377-3480
(EM) k-uekien@sea.chukai.ne.jp
S50.11生

〈コメント〉

この度入会させて頂きました、河崎植木園の福本隆史です。私はこの中央会で地域に貢献し、そして自分自身を成長させていきたいと思っています。人の役に立てる人間になりたいと思っていますので、ご指導の程、よろしく願います。

(KAMUサポートセンター)



ほし かわ かず ひさ
星 川 和 久 A型
榎エヌ・エル・エヌ 課長
通信回線の販売
〒683-0067 米子市東町234 米子開発ビル2階
TEL 31-6594 FAX 0120-556-043
(KT) 090-6038-0409
(EM) Kazuhisa-Hosikawa@max-support.co.jp
S55.09生

〈コメント〉

この度、入会させて頂きました、株式会社エヌ・エル・エヌの星川和久と申します。中央会活動は、自分にとって必ずプラスになると思っていますので積極的に参加し、様々な人との関わりを大事にしていきたいと思っています。皆様どうぞ宜しくお願い致します。

新入会員